

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 2021年4月1日～2022年3月31日



発行日 2022年5月30日

 藤原メセナ建設株式会社
mecent


エコアクション21[®]
認証番号 0013491

目次

● トップメッセージ	1
● メセナ活動	2
● 会社概要	3
● 実施体制	5
● 環境経営方針	6
● 環境経営目標	7
● 環境経営計画	9
● 活動の取組状況	10
● 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価・次年度の取組計画	14
● 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	17
● 代表者による全体の評価と見直し	18

経営理念



自然と人 芸術と文化

心と生活のゆとり

良き企業市民を創造する

経営理念への思い

当社は自然環境を保護し地球に優しい
活動をすることが社会貢献の一つと考えています

心や生活くらしの中に生まれ育った芸術文化などは
古代から人々を夢中にさせた遊びの中から生まれてきました

地域にもコミュニケーションの輪が広がり心と
生活くらしのゆとりのある環境が整い良き企業市民になれば幸いです

藤原メセナ建設株式会社
代表取締役 藤原 忠治

メセナ活動

メセナとはフランス語で「芸術や文化を保護する」という意味です。弊社は、ただ単に文化支援活動にとどまらず文化を育てることを企業理念にかかげ、真の豊かさを追求しています。

1992年から、「自然環境保護と開発の共存」と「子どもたちの未来に豊かな自然と文化を残す」ことをミッションとし、メセナ活動に取り組んでいます。

環境に配慮した事業活動を行うとともに、定期的に地域の清掃活動を行っています。また、関連施設のなみ滝藤原園での子どもの自然体験活動を支援しています。2019年からは、国連が提唱する『持続可能な開発目標(SDGs)』の取り組みを始め、2021年に東広島市の『東広島SDGs未来都市パートナー』に認証されました。

☆ 東志和小学校巣立ちの森の清掃 ☆



東志和小学校が2022年3月末を持って閉校となるため最後の清掃と卒業生の名前を刻んだプレートの寄贈となりました。1993年から続けて来た活動を終えるのは残念ですが、30年間6年生の巣立ちを応援できたことに感謝しています。

☆ なみ滝藤原園子どもの自然体験活動 ☆



なみ滝藤原園は東広島市から呉市に流れる黒瀬川の源流にある並滝寺池畔に位置し、豊かな自然が残っています。その恵まれた環境を活用し子どもの自然体験活動をしています。同時に稀少となりつつある植物や生き物の保護にも力を入れています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

東広島SDGs未来都市 パートナー宣言証



藤原メセナ建設株式会社

貴団体は、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための
パートナーであることを証します。

令和3年2月15日

東広島市長

高垣 廣徳

SDGs 宣言項目

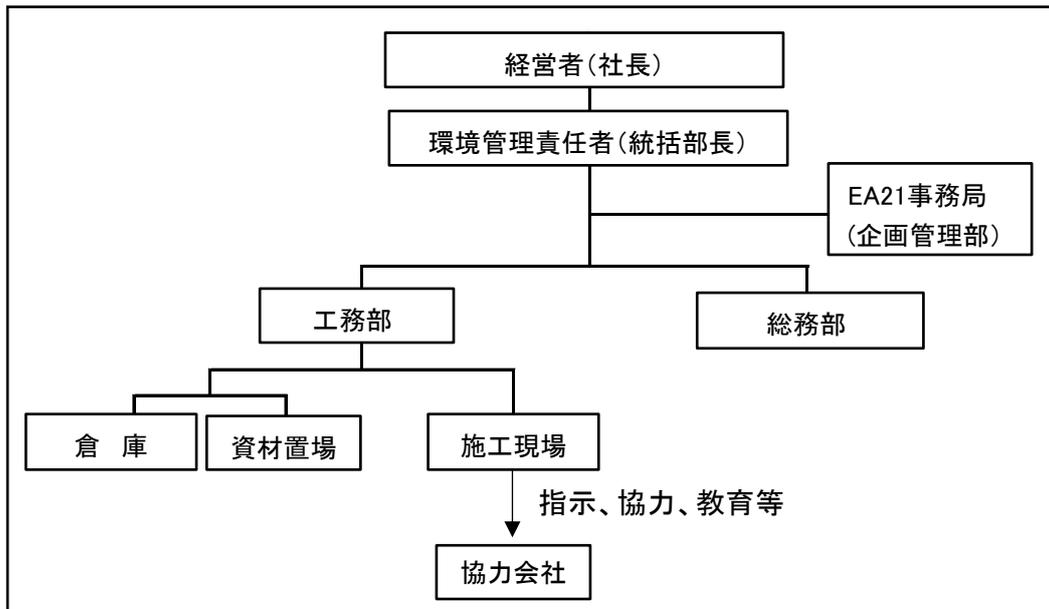


会社概要

事業所名	藤原メセナ建設株式会社
代表	代表取締役 藤原 忠治
本社所在地	広島県東広島市志和町志和東2883番地
設立	1975年12月（1928年創業）
資本金	2,000万円
環境管理責任者	統括部長 薬師 正登
EA21事務局	企画管理部 佐々木 千恵 TEL 082-433-3111 FAX 082-420-5111
事業活動	土木工事、舗装工事、建築工事、水道施設工事、 管工事、太陽光発電システム工事
許可・登録番号	特定建設業 広島県知事 （特-4）第1217号 一般建設業 広島県知事 （般-4）第1217号 特定建設業 広島県知事 （特-30）第1217号
売上高	585,000千円（令和3年度）
従業員	22名
EA21認証・登録範囲	本社、倉庫、資材置場

実施体制

【活動組織】



【役割・責任・権限】

経営者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21に関する最高責任者 ・環境経営方針の制定、環境経営目標及び計画の承認 ・EA21の実施に必要な資源(人材、設備、費用)を準備 ・全体の評価・見直しに基づき指示 ・課題とチャンスの整理と明確化 ・実施体制の構築 ・全体の評価・見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用及び社員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画書の確認及び社員への周知 ・環境関連法規等の順守状況の確認 ・環境経営の取組結果を経営者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境経営目標及び計画(案)の作成 ・取組に必要なデータのとりまとめ ・環境関連法規のとりまとめ及び順守状況のチェック ・環境経営レポート等の文書作成
工務部・総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営の推進 ・自部門に関連する法規則等を順守する ・発生した問題点の是正・予防措置の実施 ・教育・訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解 ・自主的に環境経営に取り組む

【経営理念】

自然と人 芸術と文化 心と生活のゆとり 良き企業市民を創造する

【環境経営方針】

地域社会への貢献と持続可能な発展を目指す

【基本方針】

私たちは、総合建設業と太陽光発電工事を通し、環境保護に配慮しながら、現在および将来にわたり地域社会と人々の暮らしを支える企業風土・文化を育み次世代へ継承します。

【行動指針】

建設工事の設計・施工において、環境目標の設定と定期的な評価・改善により、環境負荷の低減に努めます。

1. 環境に配慮し具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力、車両燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 使用材料と廃棄物の3R(減量、再利用、再生資源化)の推進
 - ③ 環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進
 - ④ 本社、工事現場周辺環境美化の推進
 - ⑤ 地域の清掃活動の推進
2. 環境関連法規制を順守します。

制定日：2020年4月1日

改訂日：2022年4月1日

藤原メセナ建設株式会社
代表取締役 藤原 忠治

環境経営目標

【環境目標項目及び環境配慮項目】

環境経営方針の行動指針及び2019年度の環境への負荷状況の結果より「環境経営目標として改善活動をするもの」と「環境配慮の取組を決め維持活動をするもの」を表の通り決めました。

2020年4月～2023年3月

項目		目標/維持活動	
環境経営目標として改善活動をするもの	二酸化炭素排出量の削減	・事務所の二酸化炭素排出量	・2019年度比、毎年1%ずつ削減 《削減目標の設定根拠》 『東広島市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』(2018年11月)で、2030年までの産業部門の削減目標は2013年度比で10.6%です。これを参考に、2019年度比で2030年度までに10%削減を目標に、毎年1%ずつ削減することにしました。
		・現場の二酸化炭素排出量	
		・全社の二酸化炭素排出量	
		・事務所の購入電力量	
		・現場の購入電力量	
		・事務所のガソリン使用量	
		・現場のガソリン使用量	
	使用材料・廃棄物の3R	・一般廃棄物排出量	・99%以上
		・産業廃棄物再資源化率	
		・環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進	・1工事1件以上
	・地域の清掃活動	・年8回	
環境配慮の取組を決め維持活動をするもの	・現場の混合油使用量	・使用量の把握	
	・現場の灯油使用量	・使用量の把握	
	・自家消費太陽光発電量	・発電量の把握	
	・産業廃棄物排出量	・排出量の把握	
	・建設発生土	・発生量、有効利用率の把握	
	・主な建設資材使用量	・使用量の把握	
	・化学物質使用量	・使用化学物質の調査	
	・本社・現場周辺の清掃	・毎日実施	
	・水使用量	・節水(蛇口からの水漏れ防止)	
	・環境関連法規制順守	・フロン漏えい点検(エアコン、重機) ・教育、訓練	

【環境経営目標】

「環境経営目標として改善するもの」として定めた項目について、中期(2020年度～2022年度)削減目標を設定しました。

《対象》 事:事務所 / 現:現場 / 全:全社

項目		単位	対象	基準値	目標値			
				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量	削減率		%	—	△ 1	△ 2	△ 3	
	CO2排出量 ^{注1)}		kg-CO2	事	11,986	11,866	11,746	11,626
				現	194,293	192,350	190,407	188,464
				全	206,279	204,216	202,153	200,090
	エネルギー使用量	購入電力	kWh	事	14,895	14,746	14,597	14,448
				現	21,609	21,393	21,177	20,961
		ガソリン	ℓ	事	1,083	1,072	1,061	1,051
				現	10,244	10,142	10,039	9,937
軽油	ℓ	現	60,678	60,071	59,464	58,858		
一般廃棄物	削減率		%	—	△ 1	△ 2	△ 3	
	排出量		kg	全	756	748	741	733
産業廃棄物	排出量		t	現	4,679	—	—	—
	再資源化量		t		4,665	—	—	—
	再資源化率		%		99.7	99%以上	99%以上	99%以上
環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進			件/工事	現	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上
清掃活動			回/年	全	10	8	8	7 ^{注2)}

注1) 《CO2の排出係数》 電気:0.636kg-CO2/kWh(中国電力平成30年度)、ガソリン:2.32kg-CO2/L
軽油:2.58kg-CO2/L

注2) 地元の小学校の閉校により、清掃活動実施回数を8から7に変更

環境経営計画

【環境経営目標を達成するための取組】

2020年度の結果を踏まえ、2021年度の取組みにコピー機、エアコンの交換、書類の電子申請の推進を加えました。

項目		主な取り組み	事務所	現場
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	・不要電力OFF	✓	✓
		・省エネ事務機器の使用	✓	
		◎コピー機の交換	✓	
		・エアコン温度 冷房28度 暖房22度	✓	✓
		・エアコンの清掃(年1回)	✓	
		◎エアコンの交換	✓	
	燃料使用量の削減	・低燃費車へ更新	✓	✓
		・排ガス対策型重機の使用		✓
		・重機のアイドリングストップ		✓
		・運転者教育の実施		✓
		・建設機械の点検整備		✓
◎書類の電子申請の推進		✓	✓	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	・裏紙利用、両面印刷	✓	
		・ミスコピーの防止	✓	✓
		・書類の電子申請の推進	✓	✓
	産業廃棄物の削減	・使用材料、廃棄物の3Rの実践		✓
		・分別教育の実施		✓
環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進	・低騒音型の建設機械を使用		✓	
	・環境負荷の少ない油処理剤の使用		✓	
	・農業、漁業に配慮した施工		✓	
清掃活動	・マイロード、マイリバー、公園、 小学校の清掃	✓	✓	

◎は新規取組

電力、車両燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減



二酸化炭素排出量削減のため、電力及び車両燃料の削減に取り組みました。

①電力使用量の削減

イ) 経営者の取組み

コピー機とエアコン1台を省エネ機種に交換しました。

ロ) 全社での取組み



電気のスイッチには、節電シールを貼り、使用していない部屋は必ず消灯しています。

その他、外出時のパソコンの電源OFF、及びエアコンの設定温度と目標温度との差を±5度未満に留めることを徹底しました。

②燃料使用量の削減

イ) 経営者の取組み

◆ガソリン使用量の削減

社用車をリース替え時に低燃費車に更新し、ガソリン使用量の削減に努めています。21年度は、2台を省エネ車に更新しました。現在、社用車21台中、3台がハイブリット車、11台が省エネ車です。また、書類の申請を可能な範囲で電子申請に移行し、車での移動を減らしています。

ロ) 現場での取組み

◆軽油使用量の削減

重機のアイドリングストップ、排出ガス基準適合重機の使用、建設機械の点検整備により軽油使用量の削減に努めています。

重機のアイドリングストップについては、KYミーティングや新規入場者教育の際に、重機オペレーターに協力をお願いしています。

バックホウは、メーカーから提供される、月次稼働時間、燃料消費量、CO2排出量のデータを確認し、今後の燃料消費量の削減に取り組めます。



使用材料と廃棄物の3Rの推進



イ)現場での取組み

◆産業廃棄物の分別排出

産業廃棄物の再資源化率99%以上を目標に、廃棄物の分別排出を徹底しています。施工現場で発生した産業廃棄物を自社運搬する際は、廃棄物処理法に準じて、分別後、マニフェストに記載し契約先処理業者に搬入しています。リサイクルできるものの搬入先は、リサイクル施設のある業者です。



ロ)事務所での取組み

◆一般廃棄物の分別排出

新聞、雑誌、段ボールを分別し、これらを再資源化している業者に引き取ってもらっています。また、事業系一般廃棄物は、東広島市の分別ルールに従い分別し排出しています。

環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進



◆環境に配慮した施工

低騒音型の建設機械の使用、環境への負荷の少ない油処理剤の常備、農業・魚業・林業に配慮した施工をし、環境負荷の低減に努めています。

同時に創意工夫により騒音の低減をしています。例えば河川改良工事の際、水中に設置したポンプの上に板をかぶせ、ポンプの音を軽減しました。



◆県内産木材・間伐材の使用

間伐材や県内産木材の使用を推進し、森林の保全に協力しています。例えば、県内産の木材を加工した測量杭、丁張杭や間伐材を使用した看板の使用等です。



本社、工事現場周辺の 環境美化の推進



事務所と現場周辺の清掃と環境美化に取り組んでいます。

イ) 事務所での取り組み



本社周りの清掃に加え、玄関のプランターに季節の花を植え、美しい職場環境を保つようにしています。

ロ) 現場での取り組み

◆ 現場とその周辺の清掃



防塵対策として、工事車両出入口の道路が汚れた際には、速やかに清掃しています。

◆ 現場の刈囲いに小学生の絵の掲示

施工現場に隣接する小学校の先生とお話し、その小学校の児童に絵を書いてもらいました。殺風景になりがな現場は、子どもたちの絵で和やかになりました。

1枚1枚が個性豊かなグラフィックアートで、順番に貼ると、子どもたちからの感謝の言葉でした。

「みんなのためにありがとう運動場大好きだよ」



地域の清掃活動の推進



地域社会貢献活動の一環で、地域の清掃活動をしています。また工事により一般ごみの収集等、住民生活に支障が出る場合は、その影響を最小限に留めるよう努めています。

◆清掃活動

地域社会貢献活動の一環で、広島県アダプト制度の『マイロードシステム』、『ラブリバー制度』で担当している道路と川、東広島市公園里親制度で里親になっている公園の清掃しています。



◆仮ゴミ置場の設置

工事の関係で既存の家庭ゴミ集積所が使用できません。そのため、仮ゴミ置場を設置し家庭ゴミの収集が通常どおり行えるようにしました。



環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組計画

【取組の実績・次年度の目標】

《対象》 事:事務所 / 現:現場 / 全:全社

項目	単位	対象	2021年度結果				2022年度 目標値		
			目標値	実績	目標と実績 の差	評価			
二酸化炭素 排出量	CO2排出量	kg-CO2	事	11,746	10,944	802	○	11,626	
			現	190,407	275,680	-85,273	×	188,464	
			全	202,153	286,624	-84,470	×	200,090	
	エネルギー 使用量	購入電力	kWh	事	14,597	15,789	-1,192	×	14,448
				現	21,177	36,324	-15,147	×	20,961
		ガソリン	ℓ	事	1,061	389	672	○	1,051
				現	10,039	12,943	-2,904	×	9,937
		軽油	ℓ	現	59,464	86,082	-26,618	×	58,858
		一般廃棄物排出量		kg	全	741	707	34	○
産業 廃棄物	排出量	t	現	—	2,491	—	—	—	
	再資源化量	t	現	—	2,451	—	—	—	
	再資源化率	%	現	99%以上	98.4	-0.6	×	99%以上	
環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進		件/工事	現	1件以上	1件以上	0	○	1件以上	
清掃活動		回/年	全	8	8	0	○	7	

《実績評価方法》

目標と実績の差は、“対象年度の目標値-実績”で計算しました。但し、産業廃棄物再資源化率と清掃活動は、“実績-対象年度の目標値”で計算しました。

○:達成(計算値がゼロ以上) ×:未達成(計算値がマイナス)

【取組結果とその評価】

①二酸化炭素排出量

事務所は購入電力量が目標値を上回ったもののガソリン使用量が大幅に減少したことにより、二酸化炭素排出量は目標値を下回りました。一方、現場は、購入電力量及びガソリン、軽油使用量が目標値を上回ったため、二酸化炭素排出量は目標を達成できませんでした。現場の二酸化炭素排出量は対象期間中の施工件数や工事の規模・内容に影響されます。2023年度から実態に則した目標値になるよう、目標設定方法を検討中です。

②一般廃棄物・産業廃棄物

一般廃棄物は、EA21の取組みを始める以前より、裏紙使用と両面コピーの利用を推進してきました。それにより、社員の裏紙使用と両面コピーが習慣化されたことにより排出量は、目標値741kgを下回りました。次年度も目標が達成できるよう裏紙使用と両面コピーに努めます。

産業廃棄物は分別を徹底したものの、再資源化できない建設汚泥排出量の増加により目標を達成できませんでした。引き続き再資源化率99%以上を目指し、改善活動に取り組めます。

③環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進

工事ごとに1件以上の取組ができました。次年度は広島県長寿命化技術活用制度の登録技術の活用や県内産木材使用を推進し、環境配慮型の製品・工法の利用と施工に取り組めます。

③清掃活動

清掃活動は予定通り8回実施しました。2022年度は、地元の小学校の廃校により年7回の実施となります。

【2022年度の取組計画】

2021年度の結果を踏まえ2022年度の取組みに、広島県長寿命化技術活用制度の登録技術の活用を加えました。

項目		主な取り組み	事務所	現場	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	・不要電力OFF	✓	✓	
		・省エネ事務機器の使用	✓		
		◎エアコンの点検	✓		
		・エアコン温度 冷房28度 暖房22度	✓	✓	
		・エアコンの清掃(年1回)	✓		
	燃料使用量の削減	・低燃費車へ更新			✓
		・排ガス対策型重機の使用			✓
		・重機のアイドリングストップ			✓
		・運転者教育の実施			✓
		・建設機械の点検整備			✓
		・書類の電子申請の推進	✓	✓	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	・裏紙利用、両面印刷	✓	✓	
		・ミスコピーの防止	✓	✓	
		・書類の電子申請の推進	✓	✓	
	産業廃棄物の削減	・使用材料、廃棄物の3Rの実践			✓
		・分別教育の実施			✓
環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進		・低騒音型の建設機械を使用		✓	
		・環境負荷の少ない油処理剤の使用		✓	
		・農業、漁業に配慮した施工		✓	
		◎広島県長寿命化技術活用制度の登録技術の活用		✓	
清掃活動		・マイロード、ラブリバー、公園の清掃	✓	✓	

◎新規取組

環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規は、次のとおりです。

法規制等の名称	条項	適用項目・内容	順守評価
廃棄物処理法	12条	委託先の許可	○
		委託契約の締結	○
		契約書の5年間保存	○
		マニフェストの交付義務	○
		マニフェストの回収、照合	○
		マニフェストの5年間保管	○
		マニフェスト交付等状況報告書	○
		多量排出事業者名及び処理計画等の報告書	○
資源有効利用促進法	18条	計画書作成	○
		再資源化された建設資材の使用	○
建設リサイクル法	10条	県知事への届出	○
	12条	建設資材の再資源化	○
フロン排出抑制法	16条	重機、本社空調機器の点検	○
		委託確認書・引取証明書の3年間保存	—
浄化槽法	7条,11条	本社浄化槽の保守点検・法定検査・清掃	○
	5条	設置の届出、使用廃止30日以内の届出	—
広島県特例浄化槽工事業届		県に5年毎に届出	○
騒音規制法	2条	県・市への事前確認	—
		特定建設作業の届出(県・市)	—
振動規制法	2条	県・市への事前確認	—
		特定建設作業の届出(県・市)	—
労働安全衛生法	90条	石綿等の除去作業計画・作業の届出	—
広島県土砂の適正処理に関する条例	8条	市へ土砂搬出(500m ³ 以上)の届出	○
	16条	土砂埋立行為(2000m ² 以上)の許可	—
東広島市小規模土砂埋立行為に関する条例		市へ土砂搬入(500m ² 以上～2000m ² 未満)の許可	—
林地開発許可	10条	地域森林計画対象民有林(1ha以上)の開発(採掘、転用、造成、形質変更)	—

○:順守 —:該当なし

当事務所に適用される環境関連法規の遵守状況を現場パトロール時に確認しました。その結果、過去1年間違反及び関連機関等からの指摘や利害関係者からの訴訟はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

わが社は創業94年を過ぎ、現在は100年企業を目指して事業活動を行っています。1992年に社名を藤原メセナ建設株式会社に変更後は社会貢献活動に力を注いできました。

環境には自然なものと、人為的に作られたものがあります。物事を自然な感覚で見ること、環境保護対策につながる新しい原理や価値を産み出すことができると考えています。わが社は、自然環境を保護し地球に優しい事業活動することを社会貢献活動の一つと位置づけ、エコアクション21とSDGsの取組みを進め新しい企業価値を提供しています。

2021年度は環境経営目標として、二酸化炭素排出量及び一般廃棄物の削減（2019年度比2%）、産業廃棄物の再資源化率（99%以上）、環境に配慮した製品・工法の採用と施工（1工事1件以上）、清掃活動（年8回）をかかげました。このうち一般廃棄物の削減、環境に配慮した製品・工法の採用と施工、清掃活動は目標を達成することができました。一方、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の再資源化率は目標を達成できませんでした。

2022年度は、現行の環境経営方針、中期環境経営目標（2020年度～2022年度）、及び2021年度の結果を踏まえ一部見直した環境経営計画を基に、二酸化炭素排出量、使用材料・廃棄物の3R、環境に配慮した製品・工法の採用と施工の推進、地域の清掃活動を定期的に評価・改善し、環境負荷の低減に努めます。

わが社は山林と農地に囲まれた地域で事業を行っています。そのため自然環境や農業、漁業に配慮した施工が求められます。これを実行することは簡単ではありませんが、エコアクション21とSDGsに取組みながら、自然環境保護と開発の共存を目指します。

2022年5月30日

藤原メセナ建設株式会社

代表取締役 藤原 忠治